

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	保健体育	
科目基礎情報							
科目番号		4070		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		情報工学科		対象学年	5		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		保健体育理論『学生の健康科学』伊藤道郎他（鈴木製本所）、体育実技『アクティブスポーツ』長谷川聖修他（大修館書店）					
担当教員		一般 未定,堂園 一					
到達目標							
運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め、これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と、健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各種目の基礎的な技術を習得することができる。また、その修得した技術を、普段のスポーツ活動に活かすことができる。		各種目の基礎的な技術を習得することができる。		各種目の基礎的な技術を習得することができない。	
評価項目2		自ら進んで積極的にスポーツ活動へ参加することができる。		積極的にスポーツ活動へ参加することができる。		積極的にスポーツ活動へ参加することができない。	
評価項目3		人体の器官とその機能を理解し、現代社会と健康に関する諸問題を理解及び解決することができる。		人体の器官とその機能を理解し、現代社会と健康に関する諸問題を理解することができる。		人体の器官とその機能を理解し、現代社会と健康に関する諸問題を理解することができない。	
評価項目4		スポーツ活動を通す中で、様々なケースを想像し、相手の立場に応じた行動をとることができる。		スポーツ活動を通す中で、相手の立場に応じた行動をとることができる。		スポーツ活動を通す中で、相手の立場に応じた行動をとることができない。	
評価項目5		自分の安全だけではなく集団の安全も留意しながら楽しくスポーツ活動を実践することができる。		自分の安全を留意しながらスポーツ活動を実践することができる。		自分の安全を留意しながらスポーツ活動を実践することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め、これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と、健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。また、体育・スポーツ活動の実践を通して、相手の立場に立ってものを考え、グローバルに活躍できる人間性の育成する。					
授業の進め方・方法		体育実技については本校体育施設を利用して行う。各種目で基本的な技術を身に付け、かんたんなルールやゲームの進め方を学ぶ。					
注意点		教科書「学生の健康科学」及び参考書「アクティブスポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては、教材（運動場・体育館）を考えて正しい服装と、体育用具等の管理、安全に十分留意すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		選択制授業のガイダンスを理解することができ、AED(自動体外式除細動器)の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。		
		2週	スポーツテスト（屋外）※天候によって変更あり。		運動能力テストと体力診断テストを実施し、自己評価ができる。		
		3週	スポーツテスト（屋内）※天候によって変更あり。		同上		
		4週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		各種目については基本的な技術を身に付け、各チームで協力してゲームができる。水泳に関しては基本的な泳ぎ方を学び、安全に準分留意できる。		
		5週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
		6週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
		7週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
		8週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
	2ndQ	9週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
		10週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		
		11週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））		同上		

		12週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））	同上
		13週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））	同上
		14週	実技評価	選択した種目ごとにスキルテストを実施する。
		15週	選択制授業（バレーボール、テニス、ソフトテニス、ゴルフ、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、水泳（7、8月のみ））	同上
		16週	予備日	予備日

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		各種評価		合計	
総合評価割合		100		100	
技能		60		60	
スポーツテスト		30		30	
レポート		10		10	